

北海道若者活躍プロジェクト活動報告

令和2年12月発行

【発行者】室蘭工業大学 北海道若者活躍プロジェクト事務局 TEL. 0143-46-5950 E-mail waka@mmm.muoran-it.ac.jp

北海道若者活躍プロジェクト推進協議会を開催



会議を進行する北海道庁（笹森課長）

令和2年10月9日（金）に、北海道大学学術交流会館において、若者活躍プロジェクト推進協議会を開催しました。

「北海道若者活躍プロジェクト」は、若者の地域就職を支援する文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」を引き継ぐ形で、北海道がまとめ役、本学が事務局となって令和2年4月に発足しました。

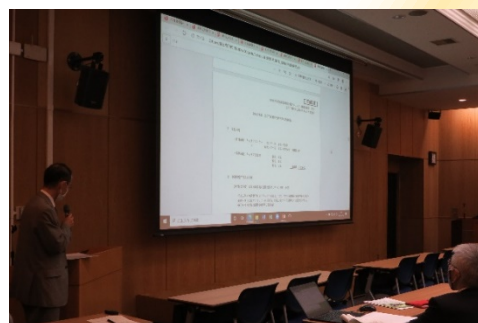
本推進協議会は、同プロジェクト会員約150機関のうち産学官金の主要な関係者で構成され、当日は22機関が出席しました。

会議では、「若者に選ばれる企業に向けての推進方策」と題して、室蘭工業大学、北海道経済連合会及び北海道から説明があり、今後はCOC+で形成した10拠点が中心となって、各推進方策を検討・実施していくことが了承されました。

その後、各拠点の活動状況について大学・高専、自治体から報告がありました。各拠点は、地域の企業や産業団体、振興局及び市町村等と連携した体制を構築し、雇用創出・若者定着を推進するために、各地域の特色を活かした事業を検討・実施していくことになります。

最後に、本推進協議会の下に設置している地域教育ワーキンググループの検討状況について、座長である室蘭工業大学の永野副学長から報告がありました。

今後、同ワーキンググループでは、道内企業への就職を増加させるために、COC+で構築した道内就職優遇制度の内容を再検討することになります。



拠点活動を報告する公立千歳科学技術大学（吉本キャリアセンター長）

地域PBL発表交流会を開催

令和2年10月18日（日）に、地域PBL発表交流会を開催しました。

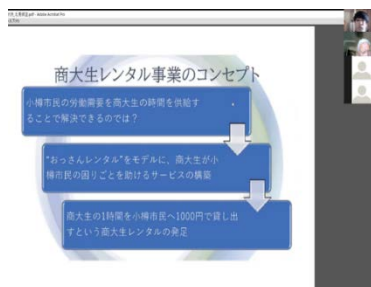
本会は、「学生と企業がミライの北海道を考える地域課題解決プロジェクト」と題して、北海道若者活躍プロジェクトに参加する大学・高専の学生が地域課題の解決を目指し考案したアイデアや実際の取り組み（地域PBL）について発表し意見を交わすもので、オンライン会議システムにより開催しました。

第1部では、大学・高専8機関（10テーマ）の学生による地域PBLの取り組みを5分間×10テーマの発表が行われ、学生自身が考案したアイデアをスライドや動画により工夫したプレゼンテーションが展開されました。

第2部では、プレゼンテーションを聴講した参加者が、オンライン上に設けた10個のブレイクアウトルームに分かれ、各テーマの発表学生との意見交換を行いました。



緊急時におけるコミュニティづくりに関する発表（北見工業大学）



学生が市民の困りごとを助けるサービスに関する発表（小樽商科大学）



水耕栽培における排液測定の問題解決に関する発表（旭川工業高等専門学校）

意見交換終了後は表彰式があり、旭川工業高等専門学校のアイデア「ノンストップで5カ月動作！水耕栽培用IoT排液計の製作と実証実験」が最優秀賞に選ばれ、発表学生に対して、本学の空閑学長からオンライン上で表彰と記念品の贈呈がありました。



記念品を贈呈する空閑学長